

第5回事例研究「自治体現場の最前線に学ぶ」

滝沢村の経営品質運動に学ぶ

～創造的自治体マネジメントへの挑戦

1. 実施内容 平成15年1月17日(金) 1時30分から5時まで

時間・会場	テーマ	講師	内容
1部 1時30分 ～2時50分 映像研修広場	(解説) 経営品質とは	(財)関西生産性本部 コンサルティング部長 森田 芳次さん	経営品質の基本的な考え方 組織プロフィールの解説 経営品質のフレームの解説
2部 3時00分 ～4時00分 映像研修広場	(事例研究) 岩手県滝沢村の取り組み	滝沢村経営企画部 経営企画課 久保 雪子さん	滝沢村の経営品質への取り組みの紹介
3部 4時10分 ～5時00分 第3研修室	意見交換会	久保 雪子さん	希望者との意見交換

2. 対象者 市町村職員で希望するもの

事例紹介(1部・2部): 定員200名

意見交換(3部) : 20名程度

事例紹介は講演会形式で行います。

意見交換は事前申込み者を対象に、場所を移し実施します。

3. 内容

経営品質向上運動とは、アメリカのMB賞をモデルに開発された経営マネジメントの向上を目指す考え方として注目され、特にマネジメントの確立された民間企業が導入し、運動を進めています。日本では生産性本部が日本経営品質賞を創設し、今年度からは行政版の取り組みも始まっています。

今回の事例研究では、まず経営品質向上運動で期待される効果から、その基本的な考え方、そのフレームについてなどの理解を深めるため、関西生産性本部の森田さんから経営品質向上運動そのものについてご解説いただきます。

その上で、経営品質向上運動に具体的に取り組んでいる滝沢村の久保さんから事例紹介をしていただきます。滝沢村は日本で初めてISO9001と14000を同時取得した自治体で、その取り組みの後、顧客(住民)の立場にたった行政サービスの質の向上を行政経営品質向上運動に求め、庁内改革を進めています。三重県と並び先導的な役割を果たす滝沢村の改革の歩み、改革手法について順に解説いただきます。また、急激な変革を進める中での苦労話や久保さんの改革に対する意欲をお話いただきます。また、久保さんから、「私の役所、もっと良くなれないかなあ...と感じている職員の方とお話がしたい」というご希望もあり、終了後希望者のみで意見交換も行います。

4. 申込み方法

お申込みは各市町村研修担当課にお願いします。

(担当: マッセOSAKA研究課)